



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月5日

上場会社名 株式会社エムケイシステム

上場取引所 東

コード番号 3910 URL <https://www.mks.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三宅 登

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 吉田 昌基

TEL 06-7222-3394

四半期報告書提出予定日 2020年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	527	2.7	31	3.2	32	6.5	10	11.1
2020年3月期第1四半期	513	23.6	30	263.2	30	277.3	11	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 8百万円 (46.0%) 2020年3月期第1四半期 5百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	1.96	
2020年3月期第1四半期	2.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,157	1,269	57.4
2020年3月期	2,234	1,304	56.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,237百万円 2020年3月期 1,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		8.00	8.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,200	1.4	26	83.6	25	84.2	14	85.8	2.65
通期	2,749	15.5	324	3.2	322	3.1	201	2.1	37.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	5,428,000 株	2020年3月期	5,428,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	474 株	2020年3月期	474 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	5,427,526 株	2020年3月期1Q	5,427,681 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大を受けた政府の緊急事態宣言の発令により個人消費が急激に減少する等、経済活動が大幅に落ち込み、非常に厳しい状況が続きました。緊急事態宣言の解除後も首都圏を中心に感染拡大が続いており、先行きについても当面の間は不透明な状況が続くと見込まれます。

国内の情報サービス業界では、クラウドコンピューティングに代表されるサービス化の流れが一層加速する中、AI（人工知能）等の最新のテクノロジーの活用やクラウドサービス間での連携強化等、付加価値向上に向けた取り組みが進んでおります。当社グループの関連する人事労務領域においては、政府が推進する働き方改革や新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワークへの急速な取り組みなどを背景に、企業の投資意欲は引き続き高い状態にあります。

このような状況の中、当社グループは、顧客の業務効率化並びに付加価値創造を支援し、顧客満足度をより一層高めるべく努めてまいりました。当社の主力製品である「社労夢（Shalom）シリーズ」は、社会保険、労働保険等に関する業務支援システムとして、既に2,500を超える社労士事務所に幅広く導入いただいております。また近年は、一般法人企業向け製品である「Company Edition」シリーズに関しても、電子申請義務化の流れの中で業種を問わず、システム構築の引き合いが強まっております。CuBe事業においては「CuBeクラウド」の機能強化を行い、販売ルートを開拓するためのマーケティング活動を強化する等、業容拡大を図りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は売上高527,696千円（前年同四半期比2.7%増）、売上原価281,080千円（前年同四半期比11.1%増）、売上高に対する売上原価の比率53.3%（前年同四半期比4.0ポイント増加）、売上総利益246,616千円（前年同四半期比5.4%減）、営業利益31,858千円（前年同四半期比3.2%増）、売上高に対する営業利益の比率6.0%（前年同四半期比0.0ポイント増加）、経常利益32,645千円（前年同四半期比6.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益10,648千円（前年同四半期比11.1%減）となりました。また、当社グループが重要な経営指標と考える自己資本利益率（ROE）は、当社単体では2.4%（前年同四半期は4.4%）となりました。連結ベースでは0.8%（前年同四半期は1.1%）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(社労夢事業)

社労夢事業においては、働き方改革やテレワーク推進のための業務効率化の必要性を背景に、主要顧客である社会保険労務士市場のみでなく、一般法人市場においてもシステム導入意欲が高まっております。一方で、競合による新規参入が散見され、価格面も含め競争の激化が予想されます。

当第1四半期連結累計期間においては、企業への営業自粛要請に伴う休業補償や雇用調整助成金などの活用について、社会保険労務士の先生方が対応に追われる一方、一般法人市場においてもお客様の人事担当者、決裁権限者の繁忙による商談及び導入作業の遅れが発生しました。また、毎年出展し多くの企業の引き合いにつながっている人材関連ソリューションの専門イベント「Human Capital2020」が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止になった他、当社主催のセミナーも会場開催の中止を余儀なくされるなど、対面営業に制限がかかる事となりました。

このような状況の中、社労夢製品のフォローアップ説明会や各種セミナーをオンラインで開催し、Webサイトを活用したプロモーション活動の強化などを進めました。また、昨年リリースした中小企業向け新製品「DirectHR」や株式会社ビジネスネットコーポレーションより事業譲受により引き継いだ「eNEN（旧：年末調整CuBeクラウド）」の機能強化を図りました。

この結果、クラウドサービス売上高は、420,731千円（前年同四半期比5.6%増）となりました。主力サービスである社労夢製品のユーザー数が増加したことに伴う月額利用料の積み上がりに加え、一般法人企業の利用数が増加したことにより、ASPサービス売上高が395,960千円（前年同四半期比13.9%増）となった一方で、システム構築サービス売上高は24,771千円（前年同四半期比51.2%減）となりました。社労夢ハウズプランの受注及び一般法人企業の新規導入が進まなかったことによります。また、システム商品販売売上高についても、テレワーク移行の影響を受け22,539千円（前年同四半期比17.1%減）となりました。

また、前連結会計年度において連結子会社である株式会社ビジネスネットコーポレーションより行った、松山開発センターにおけるシステム開発事業の会社分割による承継、及び「eNEN（旧：年末調整CuBeクラウド）」の事業譲受などにより、労務費、ソフトウェア償却費などの売上原価が増加しました。

以上の結果、社労夢事業の売上高は、451,821千円（前年同四半期比6.0%増）となり、売上総利益は225,521千円

(前年同四半期比8.1%減)、営業利益は56,447千円(前年同四半期比26.3%減)となりました。当社グループで重要な経営指標としている売上高に対する営業利益の比率は12.5%(前年同四半期比5.5ポイント減少)となりました。

(CuBe事業)

CuBe事業では、大手企業の人事総務部門向けに業務プロセスの効率化を目的として個社毎にカスタマイズしたフロントシステムの受託開発と、大手企業向け受託開発を通じて蓄積したノウハウを活かし、中小企業での利便性を実現したクラウドサービスの提供を行っております。

前連結会計年度において、「年末調整CuBeクラウド(現:eNEN)」を株式会社ビジネスネットコーポレーションから親会社である株式会社エムケイシステムへ事業譲渡しました。

特にフロントシステムの受託開発において、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、お客様となる企業や自治体の担当者や決裁権限者の在宅勤務移行や繁忙により、商談及び導入作業の遅れが発生しました。一方、クラウドサービスにおいては、「GooooN」の販売ルートの開拓、機能強化などを進めました。

以上の結果、CuBe事業の売上高は87,195千円(前年同四半期比0.8%減)、売上総利益は21,094千円(前年同四半期比36.4%増)、営業損失は25,698千円(前年同四半期は46,695千円の営業損失)となりました。なお、CuBe事業の営業損失については、のれん償却額9,715千円を反映しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,050,805千円(前期比12.2%減)となりました。主な内訳は、現金及び預金648,775千円、売掛金333,121千円となっております。

また、固定資産の残高は1,106,236千円(前期比6.5%増)となりました。主な内訳は、ソフトウェア452,322千円、のれん242,887千円、差入保証金180,890千円、建設仮勘定115,885千円となっております。

以上の結果、総資産は2,157,041千円(前期比3.5%減)となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、598,224千円(前期比0.2%減)となりました。主な内訳は、未払金171,777千円、1年内返済予定の長期借入金166,644千円、未払費用73,794千円及び前受金65,166千円となっております。

また、固定負債の残高は288,934千円(前期比12.6%減)となりました。内訳は、長期借入金288,934千円となっております。

以上の結果、負債合計は887,158千円(前期比4.6%減)となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における株主資本は、1,237,614千円(前期比2.6%減)となりました。主な内訳は、資本金219,110千円及び資本剰余金197,457千円、利益剰余金821,514千円となっております。

以上の結果、純資産は1,269,883千円(前期比2.7%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月11日に公表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載しております連結業績予想から変更はありません。

なお、当連結業績予想は現時点で入手可能な情報等を踏まえたものであり不確実性は高く、在宅勤務導入による生産性の低下や商談の遅れ、会場でのセミナー開催の中止、などの影響が顕在化しており、新型コロナウイルスの収束時期やその他の状況の経過により影響が変化した場合には、経営成績に影響を及ぼす可能性があるため、当連結業績予想を下方修正する場合があります。

今後の業績推移等によって第2四半期及び通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	749,960	675,917
売掛金	420,149	333,121
商品	5,904	6,438
仕掛品	1,451	6,370
貯蔵品	173	82
前払費用	17,623	21,493
その他	1,004	7,381
流動資産合計	1,196,267	1,050,805
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	18,455	18,120
車両運搬具(純額)	2,608	2,390
工具、器具及び備品(純額)	41,623	40,326
建設仮勘定	—	115,885
有形固定資産合計	62,688	176,723
無形固定資産		
ソフトウェア	476,781	452,322
ソフトウェア仮勘定	29,507	28,598
商標権	1,535	1,483
電話加入権	1,218	1,218
のれん	252,602	242,887
無形固定資産合計	761,646	726,510
投資その他の資産		
出資金	70	70
差入保証金	180,890	180,890
繰延税金資産	33,078	21,943
その他	98	98
投資その他の資産合計	214,137	203,002
固定資産合計	1,038,471	1,106,236
資産合計	2,234,739	2,157,041

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,019	11,351
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	166,644	166,644
未払金	91,235	171,777
未払費用	32,347	73,794
未払法人税等	81,720	14,993
未払消費税等	94,545	28,890
前受金	33,341	65,166
賞与引当金	55,634	30,413
その他	7,099	25,192
流動負債合計	599,588	598,224
固定負債		
長期借入金	330,595	288,934
固定負債合計	330,595	288,934
負債合計	930,183	887,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	219,110	219,110
資本剰余金	197,457	197,457
利益剰余金	854,151	821,514
自己株式	△466	△466
株主資本合計	1,270,251	1,237,614
非支配株主持分	34,303	32,268
純資産合計	1,304,555	1,269,883
負債純資産合計	2,234,739	2,157,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	513,935	527,696
売上原価	253,110	281,080
売上総利益	260,825	246,616
販売費及び一般管理費	229,966	214,758
営業利益	30,858	31,858
営業外収益		
受取配当金	1	1
受取ロイヤリティー	—	150
助成金収入	—	1,056
保険解約返戻金	—	11
仕入割引	5	138
還付加算金	337	—
その他	46	17
営業外収益合計	390	1,374
営業外費用		
支払利息	594	587
その他	0	—
営業外費用合計	595	587
経常利益	30,654	32,645
税金等調整前四半期純利益	30,654	32,645
法人税、住民税及び事業税	10,367	12,764
法人税等調整額	14,295	11,134
法人税等合計	24,662	23,899
四半期純利益	5,991	8,746
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,991	△1,901
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,983	10,648

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	5,991	8,746
四半期包括利益	5,991	8,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,983	10,648
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,991	△1,901

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	426,070	87,865	513,935	—	513,935
セグメント間の内部売上高又は 振替高	138	51	189	△189	—
計	426,208	87,916	514,124	△189	513,935
セグメント利益又は損失(△)	76,623	△46,695	29,928	930	30,858

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	443,088	84,607	527,696	—	527,696
セグメント間の内部売上高又は 振替高	8,733	2,587	11,320	△11,320	—
計	451,821	87,195	539,016	△11,320	527,696
セグメント利益又は損失(△)	56,447	△25,698	30,749	1,108	31,858

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響について)

新型コロナウイルスが感染拡大した影響により経済の先行き不透明感が高まり、当社グループにおいても、在宅勤務導入による生産性の低下や商談の遅れ、会場でのセミナー開催の中止、などの影響が顕在化しております。しかし、当社グループの売上高は、主力製品である社労夢シリーズの月額ライセンス料収入を主としており、高い安定性を維持しているため、現時点で繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りに重要な影響を及ぼす事象は生じていないと判断しております。

なお、当該見積りは現時点で入手可能な情報等を踏まえたものであり不確実性は高く、新型コロナウイルスの収束時期やその他の状況の経過により影響が変化した場合には、上記の見積りの結果に影響し、翌期以降の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。